



夕刊 第一一十月八日 發行日

隨筆 初秋

大内正之介

氣持が、ぼくには重い負擔に感じられるばかりだつた。浮世のキリイアとして...

上京吟

市川健次

○たまたかに離りて語る父母のうへなつかしきはたらきさびしけれ...

潮聲

秀勝 選

炎天の日に際しとらし蝉の聲 炎天の赤煉瓦上の種音...

町園木實を悼む

小濱牧泉

○紅葉せる川前の里をさまよひしを、うつと見しは明け方の夢...

原稿と銅貨が三枚かすかな肌温を残してにぶい光を放つてゐる...

社會の今日

明治八

おしやべり何ともしやべるか、人夫等の畫巻の夢へ話すよき星...

劍火無情

津屋義人作

宇都宮の城下、大手通り 彼等地上の勞苦の擔ひ手...



鳥田忠夫 (童話詩) 松の枝から 藤の花...

の街道に、黒磯の小平木といふ旅客があつた。野州にあり上州の長陽差...

尋ねるのは玉五郎ぢやあ一日逸えて昨日の朝立ちな...

屋根材の大王(日の出)便利瓦 耐久力優二十年以上...

銘木 天井板 内外材 建築材料ノ御用命ハ是非當店...

絹織物正木織物店 開業三十五週年を祝するため一割引にて大々的勉強御註文に應ず...

正木織物店 公園下 白生地 賞織販賣

波瀾院 内科 醫學博士 難波睦 小兒科 看護婦募集

藥局開設 處方調劑の 深谷藥局 調劑迅速 藥價低廉

産科 婦人科 午後往診 入院應需 井阪醫院 平町田町

木村外科醫院 平町六丁目(橋際) 電話三〇九

ガス入電球ノ値下グニ 次グ又値下グニ 大谷時計病院

生徒募集 磐城女子専門學院 入學毎月初日

大和田醫院 耳鼻咽喉科専門 平町南町

御新佛の戒名 入提灯 燈提

スガノヤ提灯店 向御好みにより値も色々に調整致します

保護法却て生活を脅威

婦女の入坑及夜業禁止實施に就て
小田礦から調査官に進言
抗夫後扶助規則の改正に出でられ度い旨を山野邊同だつた第二坑を復活するに...

今夜四ヶ所へ、政友派の演説會

平町の會場は第三校
政友派の演説會
平町の會場は第三校
政友派の演説會...

福島第二復活

從業員募集開始
福島第二復活
從業員募集開始...

青山帝大教授一行 入山で地震探検

専門家の注視を集む
青山帝大教授一行
専門家の注視を集む...

早害惨状視察

狩野農林技師來郡
早害惨状視察
狩野農林技師來郡...

夏鶯最高四圓七十錢

収入は略昨年と同程度
夏鶯最高四圓七十錢
収入は略昨年と同程度...

東京へ大量移出

ホクノの平町青物商
東京へ大量移出
ホクノの平町青物商...

大部分は優と甲

萬丈の氣を吐く第一校
大部分は優と甲
萬丈の氣を吐く第一校...

涼快の四倉から

平第一臨海學校通信(8)
涼快の四倉から
平第一臨海學校通信(8)...

子守を返せ

世話人から議論願
子守を返せ
世話人から議論願...

寂寥々出席僅か四名

恒例不參多數の磐中同窓會
寂寥々出席僅か四名
恒例不參多數の磐中同窓會...

似ては居ませんか?

私生兒認知で争ふ
似ては居ませんか?
私生兒認知で争ふ...

健康を装はしめ

肺患の女を賣る
健康を装はしめ
肺患の女を賣る...

断然焼酎愛好時代

蔵出し高の数字が語る
断然焼酎愛好時代
蔵出し高の数字が語る...

生校の店員

依頼された衣類
生校の店員
依頼された衣類...

平南町 上田醫院
院長 上田耕作
電話 二一九

前田醫院
院長 前田清美
植田町電話二二四

靈峰羊羹
平屋賣店
小川製菓

安齋外科醫院
院長 安齋 隆
電話 四七五

山内醫院
醫學士 山内 亨吉
電話 六九一

坂本メリヤス工場
平町六丁目
電話 六八五

貨切御用命
電話 六八五

關影商店平支店
電話 六一五

新製品發賣!!!
電話 三九六